沖福連職員研修に参加して

てるしの　上里早織

去った昨年 12 月 17 日、沖縄における精神保健福祉の開拓者、また精神家族会の先駆者として活動されていた初代会長・山里八重子さんを偲ぶ職員研修に参加した。

私は現在、沖福連の職員として働いているが、山里八重子さんの生前の活動を詳しく聞いたことがなかった。毎日タイムカードを押すときに、事務所に飾ってある山里八重子さんの笑顔を写真で拝見するだけである。今回の職員研修に参加するにあたっては、生前の山里八重子さんの活動秘話や、仕事に対して凄く怖い人なのか？　厳しい人だったのか？　写真同様に温厚な方なのか？　興味津々である。

研修を通して、山里八重子さんの存在が見えた。精神障がい者家族会の先駆者としての活動、当事者やご家族のために県や各市町村など公的機関への請願活動を積極的に実行！　相手が難しい方でも屈しない姿勢！　家族会のため、自分のお子さんのため、強い心を持つ人。

自分の時間も惜しみなく家族会のために活動する姿、私にはとてもできない行動に感銘を受けました。話の中で、家族会の皆さんがどんなに励まされ、信頼・尊敬を寄せてきたのかうかがえる。その反面、写真のままの温厚な優しいお母さんだったのだろうな～と想像すると嬉しくも感じた会でした。